

健康管理を止めないで！

● **コロナ禍で健康管理に警鐘**

新型コロナウイルスに多くの「医療の力」が注がれる中、日々の健康管理に警鐘が鳴らされています。

日本対がん協会の調査によると、昨年4～6月の緊急事態宣言中にかん検診の受診が大きく減少し、その後も低下傾向にあります。それにより2、3年後、進行がん（早期発見できず悪化した状態）の患者が増える可能性があると報告しています。

2021年2月現在、新型コロナウイルスでの死亡者数は7,000人余り。一方、がんによる年間死亡者数は約38万人です。

● **コロナ禍を生きる！**

人類は着々と新型コロナウイルスに立ち向かう体制を整えつつあります。

日本でもワクチンの接種が始まりました。イスラエルのデータによると、ファイザー製のワクチンの有効性は93～94%で、60歳以上の新規感染者数は60%減少し、また入院患者数も45%減少しているとのこと（図1）。変異型にどのくらい有効なのかは、まだわかりませんが、人類は着々と新型コロナウイルスに立ち向かう体制を整えつつあります。

つあります。

あとは、特効薬（新型コロナウイルス治療薬）の開発が待たれるところです。

コロナ禍を生き抜くには、感染時の自分の重症化リスクを知ることとも肝要です。その点から後述（重症化リスクを知る6つの検査）の検査項目は必須と考えます。

※イスラエルはファイザー製ワクチンを国民の42%が接種しており、その内60歳以上の国民は87%接種している。

● **コロナ重症化リスクは4つ**

重症化しやすい因子は4つ。

- ① 年齢
- ② 動脈硬化の増悪因子
- ③ 呼吸器疾患
- ④ 免疫低下状態

① 年齢
日本国内のデータからも年齢が上がれば上がる

図1  **イスラエルのファイザー製ワクチン接種データ**

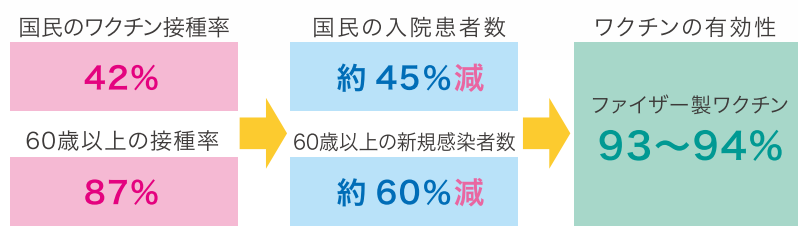
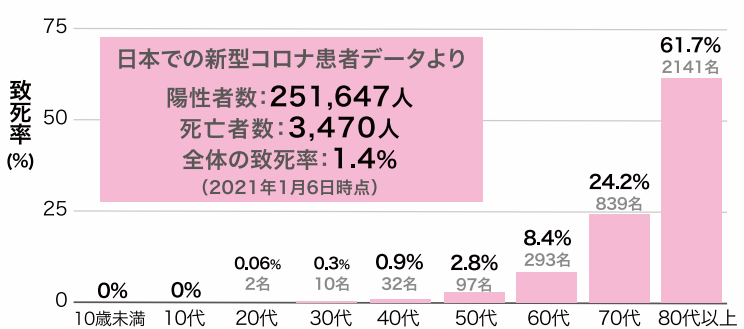


図2 **年齢別 新型コロナの致死率・死亡者数**



年齢別 死亡確率

年齢	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
死亡率	0%	0%	0.003%	0.025%	0.1%	0.3%	1.4%	4.5%	12.3%

③ 呼吸器疾患
COPD（慢性閉塞性肺疾患）、喘息など。

② 動脈硬化の増悪因子
肥満（BMIが30以上）、高血圧、糖尿病、脂質異常症（メタボリック症候群）、喫煙など動脈硬化の危険因子。

① 年齢
ほど致死率が高くなるのが改めて数字として示されています。（図2）

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向 - 厚生労働省

④ 免疫低下状態

がんや抗がん治療中、疲労などで免疫が低下する状態。

前記の因子が複数あるほど死亡リスクが高くなります。肥満や糖尿病、高血圧、脂質異常症（メタボリック症候群）の3つ以上該当する人は、ない人と比べて入院リスクが5倍であったとの報告があります。（図3、図4）

図3 年齢別 新型コロナの重症化リスク

年齢	0-4	5-17	18-29	30-39	40-49	50-64	65-74	75-84	85以上
入院	4倍低い	9倍低い	1倍	2倍高い	3倍高い	4倍高い	5倍高い	8倍高い	13倍高い
死亡	9倍低い	16倍低い	1倍	4倍高い	10倍高い	30倍高い	90倍高い	220倍高い	630倍高い

※18歳から29歳を1倍とした比較

図4 基礎疾患の重症化リスク



CDC資料より データはアメリカでの新型コロナ入院・死亡データに基づく

重症化リスクを知る6つの検査

- 1 PCR検査
- 2 抗原検査
- 3 抗体検査
- 4 胸部CT、呼吸機能検査
- 5 動脈硬化検査
- 6 リンパ球、CRP検査

① PCR検査

唾液からウイルスの一部（遺伝子）を調べる最も精度の高い検査です。現在、新型コロナウイルスに感染しているかがわかります。

② 抗原検査

唾液からウイルス特有の蛋白質を検出する検査です。PCR検査と比べ精度は下がりますが、20分で結果がわかります。現在、新型コロナウイルスに感染しているかがわかります。

③ 抗体検査

血液から過去の感染を調べる検査です。感染の既往に気付かずに抗体を持っている方もいます。抗体を持つことは、今後新型コロナウイルスに感染しないことを意味します。

*変異型には再感染の可能性はあります。

④ 胸部CT、呼吸機能検査

肺組織の状態と呼吸機能は新型コロナウイルス感染後の重症度を大きく左右します。CTでは感染初期（無症状期間）から新型コロナウイルスに特徴的な陰影を示します。

⑤ 動脈硬化検査

基礎疾患（高血圧・糖尿病・肥満など）は動脈硬化を促進させるとも大きな原因です。動脈硬化の有無は新型コロナウイルス感染後の重症度を大きく左右します。

⑥ リンパ球、CRP検査

新型コロナウイルスなどのウイルス感染症ではリンパ球が低下する傾向があり、炎症の指標であるCRPは上昇します。

人間ドック（健診、がん検診）を止めないで。

万全の感染予防にて検査を行います。

既存の人間ドックのコースに適宜、前記検査（コロナ重症化リスクを知る6つの検査）を必要なもののみを加えることで、コロナ感染時の重症化リスクを知ることができます。

またコロナ重症化を知る6つの検査のみを行う「新型コロナウイルス人間ドック」のコースも新設致しました。

スタッフ一同、十分な感染予防対策のもと検査を実施しています。

最後に、がんに限らず病気の治療は早期発見、早期治療が不可欠です。どうか人間ドック（健診、がん検診）による健康管理を止めないで下さい。

文責 人間ドック課 課長 湊景子

おすすめコース

① 全身ドック+新型コロナドック(①②③)

男性 ~~¥616,000~~ ▶ ¥484,000 (税込)

女性 ~~¥638,000~~ ▶ ¥512,600 (税込)

② がんドック+新型コロナドック(①②③⑤)

男性 ~~¥352,000~~ ▶ ¥286,000 (税込)

女性 ~~¥374,000~~ ▶ ¥303,600 (税込)

③ ドゥイブス+新型コロナドック(①②③④⑤⑥)

~~¥220,000~~ ▶ ¥154,000 (税込)

④ 新型コロナドック(①②③④⑤⑥)

単独価格 ¥110,000 (税込)